

# 東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース “黄色いハンカチ”

【発行者】

松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)  
〒271-0092 松戸市松戸 1834-5 小川ビル 2階  
TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546  
E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

## 「伝えたい大震災の記憶 学びたい大震災の体験」 ワークショップ・講演会を開催!

9月7日(日)松戸市女性センターを会場に「伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験」を開催しました。避難者・市民を含めて70名を超える参加者がありました。午前ではコープみらいさんの協力でワークショップ「日常食を非常食に作り変える～3日間を生き延びるために～」を開催。自宅にある冷蔵庫にある食べ物を思い浮かべて、電気・ガスを使わないようにするための献立作りをしました。避難者の実体験を踏まえての3日間の食事が各グループ作れていました。



ワークショップでは男女問わずに参加。それぞれの視点から献立作りを行いました。

## 名取市ゆりあげの櫻井さんが講演

午後の部は「避難所ってどんな所?大震災で困ったことは?」をテーマに講演とパネルディスカッションを開催。宮城県名取市ゆりあげ朝市漁協同組合 代表理事の櫻井広行さんが登壇し、講演。櫻井さんは行政には頼らず、市民の手で避難所の運営・ハザードマップの作成・マニュアル作り積極的にかかわり防災意識を高めて欲しいと述べました。

この他に、松戸市内の取り組みとして栗ヶ沢中学校防災委員会の副会長 所正明さんと松戸市社会福祉協議会会長の文入加代子さん、松戸市総務部危機管理課市毛一己専門監も登壇し、個々の活動の紹介をしました。



各グループでの発表。他のグループの意見も貴重なものでした。



缶詰や加熱不要のレトルトカレーで非常食の試食会も開催。



ゆりあげ港朝市協同組合 櫻井行広様



松戸市社会福祉協議会 栗ヶ沢防災委員会 文入加代子様 所正明様



パネラーの避難者の方々

また、避難者を代表して南相馬市の梅田幸子さん、佐藤利雄さん、いわき市の長谷川美鈴さんが避難所生活の体験談と避難所生活によって得た知恵を紹介。「地域住民の名簿・災害弱者の名簿」があると良いと説明をしました。」があると良いと説明をしました。

### 保子の窓

伝えたいこと  
～あれも・これも～

たくさんの皆様のご協力で、松戸市市民活動助成事業「伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験」を無事終わらすことができました。ありがとうございました。

この事業を開催するにあたり、事前と当日アンケートをお願いしました。次の活動が続けるヒントをいただきました。アンケートの中で皆様にお伝えしたい内容

#### 事前アンケートから

1. 3.11時、自転車の使用は歩いて避難している人には問題となる。
2. 地域とのつながりが大切なこと。
3. 情報を受け取るツールとして、情報機器を使える人と使えない人が2分されている。
4. ガスの元栓の解除を近隣で協力した。

#### 当日アンケートから

1. 何軒かのお家で集まると、食品が結構あるということに気付かされ、御近所づきあいも重要と思います。
2. 避難の道のりで気を付ける事が知りたい。
3. 東京湾北部地震(首都直下地震)が想定されているので、今回の講座で沢山のヒントを得ました。予測しないことが起こるので、備えの大切さを勉強になりました。
4. 閑上での避難所を運営された櫻井さんのせきららなお話が印象的でした。公助において役所より生活に密接している住民の組織体制が大事とのこと。そんなことを講演したり、立ち上げている人々のつどいを開催して欲しい。



# 私も一言

## 「陽はまた昇る」ボランティア活動で宮城県を訪ねて 土屋愛智

去る8月15～17日にかけて宮城県に震災ボランティアツアーに行ってきた。あいにくの雨模様となってしまったが、初日は津波で大きな被害を出した岩沼市や名取市の被災地を視察し、仙台市内の仮設住宅で活動した。

4年目ということもあり、ガレキ除去などは無く、花壇の整理や草むしり、仮設住宅の住民との交流がメインとなった。壁のゆがみや留め具の不調を訴えるなど、「長期居住」ではない「仮設」ならではの悩みを知ることが出来た。夜は地元住民との懇親会があった。被災地のかさ上げと景観に揺れる複雑な心境を聞きながら、時間がたてばたつほど、住民間の合意が難しくなることを痛感させられた。

二日目はゆりあげ港の朝市のお手伝いをした。我々は射的とヨーヨー釣りの出店をやったが、射的に夢中になっている孫を愛おしそうに見つめる祖父母の姿は微笑ましかった。朝市ではホタテや海鮮丼に舌鼓を打ちつつ、昼過ぎに撤収した。たった二日間だったが、東北の人々の温かさに触れられた濃密な時間だった。ボランティアに出来る事は大河の一滴なのかもしれない。被災者が少しでも笑顔を取り戻すきっかけを作れたのなら、本望である。陽はまた昇る。そう信じて来年もまた東北に行きたいと思う。

## 楽しいおさそい情報・遅めの出発

千葉を楽しむ・バス旅行：東日本大震災被災者対象

### 「野田市・むらさきの街を楽しむ」

日時：10月21日(火) 出発時刻：午前9時30分

集合場所：松戸市民劇場前 定員：20名

参加費：一人1000円(昼食代)

詳しい行程、空き状況は交流サロン「黄色いハンカチ」までお問い合わせください。

主催 特定非営利活動法人

ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

## 松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」10月の予定

毎週火水木 10時～16時オープン中。お立ち寄りください。利用は1回100円です。

下記の日にはイベントを開催しています。

10月2日(木) 13時30分～15時30分

講座 ～知ってトクする風水カラー～

講師：NPO 四季彩倶楽部 山川やえ子さん

10月8日(水) 22日(水) 13時30分～

初めての囲碁教室～一から教えます～

市民ボランティア講師 今田靖雄さん

10月9日(木) 13時30分～15時30分

アクリル粘土でお花を作ろう 講師：田中宜子さん

※材料費として300円頂きます。(要予約)

10月14日(火) 相談デー

就職・税金・介護・原簿補償・どんなことでも～

相談員：古宮保子

10月16日(木) 手芸の日 講師：戸丸栄子さん

※材料費として300円以内の実費を頂きます。(要予約)

10月23日(木) ミュージック&アロマ

音楽とアロマで身体をリフレッシュ♪

前田さん・笹子さんプロジェクト

10月28日(火) 歌の日 担当：前田洋子さん

毎週水曜日 14時～16時

パソコンデー 担当：サロンスタッフ

10月21日(火) 臨時休館日とします。

### アクセスマップ

松戸・東北交流サロン  
「黄色いハンカチ」

※松戸駅西口から徒歩5分

〒271-0092  
千葉県松戸市松戸1834-5  
小川ビル2F  
電話047-710-5519  
FAX047-710-5546

バス通り

八百屋  
さん

千葉  
銀行

バス  
通り

伊勢丹  
松戸店

銀行

バス  
ロータリー

JR常磐線  
松戸駅西口

至 上野・北千住

至 新松戸・柏

## 2014年度サポーター会員募集中!

松戸・東北交流プロジェクトでは、千葉県に避難している皆さんと交流・支援をする活動をしています。この活動を応援していただくサポーターを募集しています。交流サロン黄色いハンカチで受付しています。

※もれなくサポーター会員証をお渡します。

(個人)1口1000円(団体・法人)1口5000円